



全難聴便り

特別号

発行：事務局 〒162-0066 東京都新宿区市谷台町14-5 MSビル市ヶ谷台1F
編集：常務理事会 電話03(3225)5600 FAX03(3354)0046
URL：http://www.zennancho.or.jp e-mail：zennacho@zennancho.or.jp

7. 5緊急大行動!

「このままでの“障害者自立支援法案”では自立はできません！」

参加報告 (速報)

昨年10月の厚生労働省による“グランドデザイン案”の発表から9ヶ月。この案は「障害者自立支援法」として2月に閣議決定され国会に上程され、4月より国会で審議が開始されました。例の郵政民営化法案に世間の関心が集中するなか、この障害者の命運を左右する法案こそ一般社会に関心を持ってもらう必要があります。**5月12日の大結集**に続いて今回の集会は、7月1日から再開された衆議院厚生労働委員会での審議に照準を合わせたものとなりました。



も関東を中心に**総勢 50名余りの会員**が参加してくれました。全体としては主催者の予想を大幅に超える **11,000名もの参加者**で、会場の東京・日比谷野外音楽堂のみならず、中に入りきれない人々が日比谷公園、そして目の前にある厚生労働省の建物を囲んで埋め尽くしました。これは日本の障害者運動史上最大の動員数とのことです。

全難聴は、聴覚障害者「自立支援法案」対策中央本部の構成メンバーとして、中途失聴・難聴者の立場からコミュニケーションの保障などを求めて、法案にある「応益負担」に**反対すべく**積極的に運動に関わっています。

この集会実施は急な決定だったこともあり加盟協会には数日前への結集呼びかけとなりましたが、それで





12時半から始まった集会は、これまでの運動の経過報告、障害者施策の充実や応益負担導入反対などについてアピール採択しました。その後、14時から国会へ向けて約2Kmの道のりをデモ行進し、並行してすべての国会議員にアピール文を届けました。



私たちは会場最前列左側、耳マークの旗の下に結集し、舞台上に設置された要約筆記(OHP)を利用しながら参加しました。

デモ行進では「要約筆記通訳制度の確立を!」「コミュニケーションの保障を!」と手書きのプラカードを掲げて、延々と続くデモ行列に続いて牛歩の歩みで2時間もかかって漸く国会までたどり着きました。

議事堂の裏門では思いがけなく野党の党首をはじめ多くの国会議員が、私たちの行動にエールを送ってくれました。

当日は大勢の参加者の熱気で梅雨空をふっとばしたせいも、炎天下での開催となり、暑さでぐったりした人もいたようですが、今回のように多くの障害者とともにデモ行進に参加し、同じ思いを持って行動に移せたことは大きな収穫だったのではないのでしょうか。参加された皆様方には大変お疲れ様でございました。



7.5 緊急大行動 アピール

7) コミュニケーションの保障は、あらゆる制度利用と社会参加の基本となるものです。手話通訳や要約筆記等のコミュニケーション支援については、国が責任をもって財源保障をする仕組みにしてください。

(アピールは全部で11採択されましたが、その7番目にコミュニケーションの保障について触れています)

■実行委員会のホームページは <http://www.normanet.ne.jp/~jadh/75action.html>